

様式第3号（第13条関係）

会議録

<p>会議の名称</p>	<p>政策調整会議</p>
<p>開催日時</p>	<p>令和8年5月26日（火） 午前8時58分～午前9時16分</p>
<p>開催場所</p>	<p>朝霞市役所 別館3階 市長公室</p>
<p>出席者の職・氏名</p>	<p>【出席者】 宇野副市長、又賀市長公室長、濱総務部長、金子市民環境部長、 赤澤福祉部長、小野澤健康部長、玄順こども部長、 山崎都市建設部長、塩味審議監兼まちづくり推進課長、 稲葉会計管理者、田中上下水道部長、森田議会事務局長、 関口学校教育部次長兼教育総務課長、堀川生涯学習部長、 奥山監査委員事務局長</p> <p>（担当課） 中谷総務部次長兼財産管理課長、山崎同課財産管理係長</p> <p>（事務局） 櫻井市長公室次長兼政策企画課長、長谷川同課主幹兼課長補佐、 村沢同課ファシリティマネジメント推進室長、 染野同課政策企画係主事</p>
<p>欠席者の職・氏名</p>	<p>千葉危機管理監</p>
<p>議題</p>	<p>1 市庁舎長寿命化改修工事の入札不調について</p>

<p>会議資料</p>	<p>(議題 1) ・【資料 1】 市庁舎長寿命化改修工事の入札不調と今後の対応</p>	
<p>会議録の作成方針</p>	<p><input type="checkbox"/>電磁的記録から文書に書き起こした全文記録</p>	
	<p><input type="checkbox"/>電磁的記録から文書に書き起こした要点記録</p>	
	<p><input checked="" type="checkbox"/>要点記録</p>	
	<p><input type="checkbox"/>電磁的記録での保管（保存年限 年）</p>	
	<p>電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間</p>	<p><input type="checkbox"/>会議録の確認後消去 <input type="checkbox"/>会議録の確認後 か月</p>
	<p>会議録の確認方法 出席者の確認及び事務局の決裁</p>	
<p>傍聴者の数</p>	<p>—</p>	
<p>その他の必要事項</p>	<p>なし</p>	

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

【開会】

【議題】

1 市庁舎長寿命化改修工事の入札不調について

【説明】

（担当課：中谷総務部次長兼財産管理課長）

「市庁舎長寿命化改修工事の入札不調」について説明する。

資料1をご覧いただきたい。

5月14日に予定していた入札が不調に終わったことから、その経過や原因の考察、今後の対応について説明する。

まず、入札の経過、不調の理由としては、応札者がいなかったことによる中止となる。不調を受け、入札資格を有する建設業者へヒアリングを行ったところ、その原因の一つに、イラン情勢に起因する建築資材の納期の不透明さ、価格の高騰が考えられる。

イラン情勢による建築資材の動向については、主に石油由来の資材において、価格高騰及び受注停止、納期延長が発生している。

具体的には、プラスチック系断熱材や防水材、塗料、接着剤、シーリング材、ビニル系床材、ビニル系の配管材、ユニットバスなどの住宅設備などに影響が出ており、価格の高騰としては、1.5倍から2倍の価格上昇が見られる。

主な建築資材についてヒアリングを行ったところ、（防水材）については、アスファルト防水の受注は停止中である。ウレタン防水は受注再開したものの、現状、出荷は少量ずつにとどまる。今回の価格改定は緊急措置であり、事態収束により価格は下げる見通しとなる。（塗装材）については、1.2倍から1.5倍の価格上昇及び出荷制限の実施。

（設備材料）については、電気・機械資材のうち、配管材などは1.5倍から2倍の価格上昇となる。過去にない異常な価格高騰であるため、原料が入るようになれば価格は下がると思われる。

このような状況下における工事实施のリスクとしては、建築資材の納期延長に伴う工期延長、工期延長に伴う諸経費の負担、工事費高騰などが考えられる。

以上のことを踏まえて、市庁舎長寿命化改修工事の今後の対応（案）として、工事の実施は、イラン情勢による建築資材の流通不足や異常な価格高騰などが正常化するまで一旦停止とする。優先度の高い改修項目については、建築資材の供給状況等を考慮しながら切り分けての実施を検討する。という対応を取りたいと考えている。

また、今回、市庁舎長寿命化改修工事を一旦停止とする場合は、市庁舎以外の大規模な改修工事についても今後の対応についての検討が必要になると考えている。

説明は、以上となる。

【意見等】

（宇野副市長）

受注停止している材料がある場合、中央公民館・コミュニティセンターの改修工事を含め、今後の工事について影響が出てくると考えてよいか。

（担当課：中谷総務部次長兼財産管理課長）

影響が出てくると想定している。

(宇野副市長)

材料などが入らず工期が伸びる場合、どのくらいの経費負担が生じるのか。

(担当課：中谷総務部次長兼財産管理課長)

中央公民館の場合、足場を組んでいるためリース代などを含んで試算を行った結果、工期が1か月伸びるごとに700万から1,000万程度の経費が生じる可能性がある。

(宇野副市長)

市庁舎について、仮に設計条件などを見直して落札したとしても、現在の状況を踏まえると工期の延長が想定される。規模が大きくなればなるほど、負担も大きくなると考えてよいか。

(担当課：中谷総務部次長兼財産管理課長)

中央公民館の工事費に対して、1.5倍程度の設計金額であることから、先ほどお伝えした試算額よりも高い経費が発生する可能性がある。

(又賀市長公室長)

今後の社会情勢などを踏まえ、朝霞市建物系公共施設マネジメント実施計画や朝霞市学校施設長寿命化計画等の各個別計画に位置づけている施設も含めて、今後の対応について検討する必要がある。今後については、朝霞市公共施設等総合管理計画庁内検討委員会での検討を含めて、全体で検討していきたい。

【結果】

今後の社会情勢等も踏まえると、各計画上の他施設にも影響を及ぼすことが考えられるため、全体的に今後の対応を検討する。

【閉会】